

# THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

## 東京グリーン

CHARTERED 1973

< 2022.05 >

BULLETIN

2021年7月～2022年6月



国際会長 キム・サンチュ“Y's Men with the World”「世界とともにワイズメン」(韓国)  
アジア太平洋地域会長 大野 勉「100年を越えて変革しよう」(神戸ポート)  
東日本区理事 大久保知宏「私たちは次の世代のために何ができるか？」(宇都宮)  
関東東部部長 大澤和子「私の地域から世界に広げよう青少年を支えるワイズの輪・和・ワッ！」(所沢)  
クラブ会長 樋口順英「力まず、愉しく、安全・安心」(東京グリーン)

会 長 樋口 順英  
副 会 長 青木 方枝  
書 記 布上征一郎  
会 計 柿沼 敬喜  
監 事 柿沼 敬喜  
担当主事 木村 卓司

### 5月 母の日

わが子よ、あなたは父の教訓を聞き、母の教を捨ててはならない。それらは、あなたの頭の美しい冠となり、あなたの首の飾りとなるからである。(箴言 1章 8, 9節)  
母の日は、1908年、アンナ・シャービスさんが亡き母を記念して教会でカーネーションを配ったことが起源とされる。その後、5月の第2に日曜日を母に日と定めた。聖書には、父と母は同時に記されており、父母を敬う日としたい。

### 2022年05月 例会

日時:2022年5月18日(水) 18:30～20:30  
場所:東京YMCA東陽町センター YMCAホール  
江東区東陽 2-2-201 TEL03-3615-5565

受付:青木君 司会:布上君

開会点鐘 樋口会長  
ワイズソング・ワイズの信条 全 員  
聖句・お祈り 西澤君  
ゲスト・ビジター紹介 樋口会長  
食事 (一言添えてニコニコ献金)

#### <久しぶりのリアル例会:和やかに懇談を>

・クラブ、部、区 全般関連 報告 樋口会長、他  
・第85回神田川船の会／開催中止に関して 柿沼  
・神田川冊子作成の報告 布上  
・私も一言 (メンバーからの近況報告など)

YMCA 情報 木村君  
Happy Birthday 5月(青木メン・目黒メン 2名)  
閉会点鐘 樋口会長

### R B M ・ B F 強調月間



2021年の最新の WHO 世界マalaria報告書によると、全世界のマalaria患者数は2億4100万人、マalariaによる死亡者数は62万7000人と推定されています。

最も被害が大きいのはアフリカで、他にはアジア、インド、南米などがあります。マalariaは生命を脅かす病気ですが、予防や治療が可能であることは良いニュースです。ワイズメンズクラブ国際協会は、2008年からロールバックマalariaプロジェクトに協力しています。この活動には資金が必要です。

1ドルで1人を救う治療薬を購入することができます。1人が食事の代わりに7ドルを寄付すれば、7人を救うことができます。世界中から3万人のワイズメンが積極的に参加すれば、21万人を救うことができるのです。ワイズメンズクラブ国際協会は、グローバルアクトと協力して、毎年10万ドル分の製品を寄付し、マalaria撲滅に取り組んでいます。

ロールバックマalariaの目標は、2030年までにマalariaをゼロにすることです。ワイズメン、ワイズネット、ワイズユース、あなたも参加しませんか。世界を癒しましょう。

(理事通信5月号より抜粋転載) (布上 記)

【例会出席率】 在籍:15名 メーキャップ 0名

出席率 8/15 53%

出席:4月 例会(Zoom 例会) (メン8名、メネット1名) 計9名

【ニコニコ】 4月 (Zoom 例会のためニコニコ献金はなし)

## 2022年4月 第一例会報告

2022年4月20日(水)第一例会は今月もZOOMリモートにて開催、いつもの通り15:00~17:00で行った。

出席:青木・柿沼・木村・佐野・西澤・布上S・樋口・目黒各メン、布上Nメネットの9名。以下協議事項

- 1) 4/6(水)神田川委員会 Zoom 開催  
5月14日(土)「第85回神田川船の会」開催の協議。
- 2)4/2(土)関東東部 EMC を考えるつどい 報告
- 3)4月14日(木)チャリティーゴルフ PGM 総成GC報告

### 4) 4/16(土)13:30~関東東部第2回評議会開催報告



東陽町にてハイブリッドで開催。全体で計48名の参加。グリーンクラブの会場参加は樋口・青木・柿沼・布上(信)・木村の5名。

特に、毎年部長選出方法について改善策を検討する為、「関東東部部則・細則検討委員会」を発足することが協議案で決議されたことで、大澤部長も一歩前進と。。

- 5)4/16(土)第5回ワイズ・ナイトフォーラム開催
- 6/4-5(日) 第25回東日本区大会 ZOOM参加
- 7)第25回 東京YMCA 会員芸術祭 NET展示報告
- 8)来期ロoster内容 記載事項修正協議

(布上記)

## \*\*\*\*\* 2022年5月 第二例会(役員会)報告



2022年5月 11日(水)第二例会(役員会) 15:00~16:30  
出席:青木・柿沼・木村・佐野・西澤・布上S・早瀬・樋口・目黒各メン、布上Nメネット10名参加。

### 【重要】

- (審議)5月14日(土)「第85回神田川船の会」中止!!  
5/13, 14 天候不順から審議の結果中止と決定。  
・乗船者の皆様へ担当者から中止とお詫びの連絡を分担して行った。  
・ガイド用の新改訂小冊子が完成・入荷したので、5月18日の例会でメンバーに配布する。

### 1) DBC 京都パレスクラブ50周年記念例会出席報告

<樋口>



日時:2022年5月7日(土)  
会場:ホテルオークラ京都  
出席者:樋口会長/  
青木副会長/柿沼監事  
京都のみどりが最もうつくしく映える季節、約300名の出席のもと盛大に行われました。  
例会運営、記念事業発表(ラオスに国際ホテル専門学校設立を支援)は秀逸

で、こころざしの高さに感服しました。

また、懇親会運営でのチーム一体となったホスピタリティは心温まるものが感じられ、「親睦」があるから長い年月ずっとこういう一体感がはぐまれるのかもしないと感心しました。

DBC 熱海クラブの気合の入ったアピールもすばらしく、両 DBC の今後のますますのご盛況を祈念します。

### 2)(報告)東日本区クラブ名簿確認;訂正送付した。

### 3)(報告)5/6DBCの熱海クラブの故八代一雄メンのご逝去の連絡あり、会長宛弔メールを発信。

### 4)(審議)5/21「在京ワイズ会長会」出席の件、会員大会 布上代行出席

日時:2022年5月21日(土)10:00~11:30

開催方法:①オンライン(Zoom)

②会場参加(山手コミュニティーセンター)

対象:各クラブ 現会長、次期会長、担当主事

議題:在京ワイズ会長会幹事報告

・東京YMCA報告/在日本韓国YMCA報告

・次年度在京ワイズ 会長会幹事の件

・次回在京ワイズ会長会日程の件

・クラブ会長報告・アピール、その他

### 5)(審議)5/14千葉クラブ50周年記念会/祝電

樋口会長

### 6)(審議)6/3(金)田園調布学園クルーズ210名を予定(4艘予定)

### 7)(審議)大澤部長から「6/4-5東日本区大会(Zoom)の部報告原稿と写真提出依頼(締切 5/9)」

内容:クラブの活動写真と活動報告(100文字前後)  
写真はワードに張り付けず、データのままで添付  
写真案 クリスマス例会と、神田川船の会画像  
活動報告案は、写真の説明とする。

### 8)6/4-5 第25回東日本区大会開催

グリーン参加:樋口、佐野、柿沼、青木、布上2、西澤7名  
下記のZoom アドレスにて参加

<https://us06web.zoom.us/j/87350795778?pwd=T0RDbDM5amxWV1N2OEE4NlZPeVdwdz09>

(布上記)



フィンランドのファンタジー



ジャン・シベリウス作曲(1865~1957) シベリウス管弦楽曲集

指揮:サー・マルコム・サージェント(1895~1967) ウィーンフィルハーモニー管弦楽団(1961年録音)

森と湖に囲まれた美しくかつ厳しい自然、ポホヨラ(フィンランド神話に登場する伝説の極寒の地)にはぐくまれた神話、民謡の世界、フィンランドの国民的作曲家シベリウスは各地の伝説や民話を題材にした作品を数多く残しました。その小品の代表作を集めたCDをご紹介します。英国人名指揮者サージェントによる名盤です。曲のイメージを下記します。

1) 交響詩「フィンランディア」作品26(1899年作曲) おなじみワイズソングの原曲。ロシアの圧政に苦しむ人民、メロディーのないファンファーレにより、反骨心が表現されます。勝利するぞ!と高らかに唱われるフィンランド賛歌!

2) 交響詩「伝説」(エン・サガ) 作品9(1892) フィンランドに伝わる数々の伝説に登場する英雄たちの武勇伝や民族の悲劇をイメージした、国民を鼓舞する曲です。

3) 「トゥオネラの白鳥」作品22-2(1896) カレリア地方(フィンランドとロシアにまたがる森林と湖の地域)の民族叙事詩「カレワラ」の主人公の一人、若者レンミンカイネンの物語4曲「四つの伝説」の中の1曲です。トゥオネラとは黄泉の国と現生との間に流れる川の名前で、神聖な白鳥が唄います。イングリッシュホルンの音色が心に染入る名曲です。

4) 組曲「カレリア」作品11(1893) カレリア地方の民謡や民話に接し作曲されました。①「間奏曲」②「バラード」③「行進曲風に」の3曲から成り、いずれも素朴で和やかな親しみやすい曲です。

5) 「ポホヨラの娘」作品49(1906) 前述の叙事詩「カレワラ」の主人公の一人、魔法使いヴァイナミョイネンが、旅先の極寒地ポホヨラで出会った娘をナンパするが、無理難題を吹っ掛けられて諦めるというお話です。ライブ:2022年4月杉並公会堂でのアイノラ交響楽団。指揮者の新田ユリさんは日本シベリウス協会会長。アンコールのフィンランディアは、ウクライナに重なり感動的な名演でした。

(樋口 記)

- 1. 各学校の入学式が下記の通り開催されました。
・社会体育・保育専門学校 4月1日 日本基督教団霊南坂教会(新入生100名)
・国際ホテル専門学校 4月5日 日本基督教団霊南坂教会(新入生101名)
・医療福祉専門学校 4月7日 くにたち市民芸術小ホール(新入生46名)
・高等学院(通信制高校)4月9日 山手センター(新入生6名)

2. 4月14日に「第31回チャリティーゴルフ大会」がPGM総成ゴルフクラブで開催され、23グループ、89名が参加しました。感染症拡大防止のため、表彰式や懇親会は見送り、別途表彰記念品や参加賞を参加者に贈呈しました。益金約400,000円は、障がい児プログラム支援、フレンドシップファンド、不登校の子ども支援、災害復興支援に用います。

3. 「オープンスペース liby」は、4月1日より、杉並区西荻北から、東京YMCA南コミュニティセンター(世田谷区宮坂)内に移転しました。

4. 西東京コミュニティセンターで行っていた放課後等デイサービス「PIT国立」、及び知的障がい者支援活動「あおぞら・つばさの会」、「シャベルズ・いづみの会」は、2022年3月をもって活動を終了しました。西東京コミュニティセンター及び西東京地域における今後の展開については、会員や関係者等と意見交換しながら検討を進めていきます。

5. ウクライナ緊急支援募金が8月末まで延長となりました。引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

<各国や地域のYMCAからウクライナへの支援が綴られています。次ページにその一部を掲載いたしました。>

\*\*\*\*\*

5月 Happy Birthday

青木 方枝メン 目黒 卓メン

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

今期後半の会計は柿沼メンが担当します
クラブ年会費など、振込み口座

京葉銀行 こてはし台支店(普通) 3856346
柿沼敬喜 名義

\*\*\*\*\*

## YMCA ウクライナのハイライト 2022年4月

### \*リトアニアウクライナ

パートナーからの支援

協会 LJKS / YWCA - YMCA リトアニアとビリニュス共同体 Ys メンズクラブが集めたウクライナの必要な場所に直接届けられるよう人道的支援を行いました。

ウクライナで必要とされている場所に直接届けられます。寝袋、マット、防寒具服、靴、薬など。現在進行中であり、今後も継続する予定です。継続中です。友に感謝します。

### \*ポーランド



この二人の女性、一人はオデッサ出身、もう一人はアメリカ出身です。もう一人はアメリカ出身で、ビドゴシュツ(ポーランド)で、戦争から逃れた子供と母親のための心のケアを行う場所を開設しています。現在もウクライナに支援物資を輸送しています。ビドゴシュツでは衣食住を提供していますが、長期的に支援するための新しい方法を模索しています。Tatianas - 私たちのチームにあなたを歓迎します。

### \*ドイツ

私たちは圧倒され、多くのご寄付をいただき、ありがとうございました。現在までに、150,000 ユーロの寄付をいただきました。寄付金はYMCA ヨーロッパを通じてウクライナ YMCA、ウクライナからの難民を支援する周辺国の YMCA に分配されます。

### \*日本 東京

親愛なる友へ。東京 YMCA からの友人たちが応援してくれています。東京 YMCA 江東幼稚園の子どもたちがウクライナの国旗の色でハートを描いてくれました。YMCA - України。



### \*リビウ

短い準備活動の後、HRHのスタート地点に立ったのは2022年3月7日でした。すべての活動は、ウクライナのほぼ全域が激しい戦闘や砲撃に見舞われた戦争の期間に実施されました。

・調整チームとボランティア・コミュニティを結成。



- ・貯蔵物資を追跡し、データベースを管理するためのオンラインツールを作成しました。
- ・その地域に 150m<sup>2</sup> の機能的な貯蔵施設を設置。
- ・7.7トンの人道的援助を 1 ヶ月以内に倉庫で処理。
- ・ベルリン YMCA から受け取った食料、衛生用品、電池、トーチ、オムツ、子供の栄養食料、また、ポーランドの個人ドナーから約 0.7トンの支援物資(主に食料)を受け取り。
- ・ウクライナの 9 つの YMCA を含む 15 ヶ所に小包で送付。
- ・1000 人以上の人々が援助の恩恵を受けた。
- ・4 人と犬 1 匹の家族が危険な地域から避難しました。
- ・スペインとスコットランドから、さらに約 19トンの人道援助物資が届けられる予定です。

### \*YMCA ユースセンター DYMCA

YMCA カルパティ/戒厳令の中、私たちは国内避難民を支援します。現在、60 人が私たちの DYMCA のスペースで生活しています。この間、私たちは 400 人以上の避難民を支援しました。ここでは、無料でランチを食べたり、お茶を飲んだり、コーヒーを飲んだり、お風呂に入ったり、洗濯をしたりすることができます。Wi-Fi を使ったり、必要であれば食料品や衛生用品も手に入れることができます。

また、私たちはボランティアとして、網を編んだり、料理をしたり、子供たちのために様々な創作ワークショップを開催したりウクライナ国内外への旅行や食事など、ウクライナ国内外での支援も行っています。ルーマニア YMCA の友人たちから、すでに第 2 回目の人道的支援が届いています。



### \*YMCA オデッサ

毎週木曜日、私たちは YMCA センターに集まり、話をし、友達を作り、勉強をしました。私たちがどれほど幸せか、想像もつかなかった。戦争で世界中に散らばった友人たち。私たちが夢見た国々に散らばった。その国の移民になるわけでもなく、休暇で行く

ことを夢見た国々に散っていった。移民になるわけでもない。私たちは皆、永遠に変わってしまったのだ。私たちは一日で成長した。私たちのチームは、ウクライナで毎日 YMCA のために働いている 3 人の人々で構成されています。私たちは生き続ける。勝つことを信じて。必ず会おう私たちは神に希望を持っているのです。



### \*ザポリージャ/ザポリージャ YMCA (東ウクライナ)

この地域は活発な敵対関係が続いています。国内避難民の状況も厳しいです。約 200 人の国内避難民(ほとんどが子どもや女性)がロシア軍の絶え間ない攻撃で半壊してしまったマリウポリ港から、YMCA のボランティアによって避難させられました。

YMCA は生活必需品を提供します。(優先順位: 水と冷凍食品のパック、水、冷凍食品、日配品、缶詰、パン)。



### \*YMCA テルノピル

このような困難な時期に、私たちはすべての人を歓迎します。私たちは一つの家族です。私たちは一つのウクライナです。ボランティアは 200 人以上が対象として心理トレーニングを実施しています。

(担当主事 木村提供)

(掲載は資料から抜粋したほんの一部です。編集布上)